

No. 118
しゃっちょうは行く!



Broaden your horizons ~さあ、視野を広げて!~

こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

「斜視」という病気をご存知ですか？両眼の視線は通常、固視目標（見つめる対象）に向かってそろっていますが、片眼の視線が固視目標からそれている状態を斜視といいます。眼球を動かしている12本の脳神経のうちの一つが極端に指令を受けすぎてしまうと、その方向に眼球が向いたままになってしまいます。

近年、「内斜視」という病気が増えはじめています。その理由はスマホやゲームにより、目を内側に寄せることが習慣化しているからだといいます。そういうえば、私たちの時代は「テレビを見るときは、距離を取って見なさい」と親に言われた覚えがありますが、スマホやタブレットは目との距離が非常に近いですよね。

では、内斜視がどんな影響を及ぼすかというと、視野が極端に狭くなり、根本的な視力低下につながること。これは良くない傾向です。しかし、内斜視は見た目がそんなに違和感がないため、保護者も気がつかなかつたり、黒目が内側によるので、むしろ瞳が大きく見えてかわいいから、そのままよいと放置されたりすることが多いとのこと。これはいけません。

やはり視力は良く、視野の広い子どもにしてあげるためにも、思い当たることがあれば、ぜひ眼科に！

Medisere（メディセレ）代表取締役社長 児島 恵美子